

光國光七郎教授の略歴

1. 氏名:

みつくに こうしちろう
光 國 光 七 郎

2. 略歴:

1950年3月 新潟県上越市(高田)生まれ。
1985年3月 創価大学通信教育部・経済学部経済学科卒業。 経済学士。
2000年3月 大阪大学大学院工学研究科情報システム工学専攻博士後期課程修了。
博士(工学)。
1968年4月 日立システムエンジニアリング(株)入社。
1969年2月 (株)日立製作所コンピュータ事業部転属。
2004年10月 同社ビジネスソリューション事業部 本部主管・上席コンサルタント。
2006年10月 (株)日立コンサルティング 執行役員(マネージングディレクタ)。
2007年4月 多摩大学大学院経営情報学研究科 客員教授。
2010年4月 早稲田大学理工学術院創造理工学研究科経営デザイン専攻 教授、
現在に至る。

3. 学会・委員会等の活動:

2001年度、2002年度 スケジュールリング学会 理事
2003年度～2009年度 スケジュールリング学会 評議員
2004年度 日本経営工学会 特別委員会(第二委員会)委員
2009年3月 日本機械学会 優秀講演論文賞 受賞

4. 職務経歴

1968年～1990年;

プログラマ、システムエンジニア、システム開発プロジェクトマネージャとして、
製造・流通業の情報システムを多数構築。

業種:鉄鋼, 自動車, 化学, ガラス, 化学品商社

業務:生産, 生産管理, 在庫管理, 販売管理, 調達管理, 環境管理,
管理会計, 給与計算

1990年～1993年;

マーケティングおよび業界動向分析コンサルティング

業種:自動車業界, 化学品業界, 工作機械業界, 電子部品業界, 住宅設備機器業界

1994年～2010年;

業務構造(機構)分析および業務改革・情報システム再構築コンサルティング, 大手建材メーカー
(生産管理), 大手水洗機器メーカー(開発設計管理), 大手総合電機メーカー(予算制度), 大手総

合電機メーカー(経営改革・分社化情報システム再構築), 大手食用製油メーカー(業績評価制度・事業部分割), 大手電子機器メーカー(SCM 構築), 大手電子機器メーカー(環境管理), 中堅電子部品メーカー(SCM 構築), 中堅酒造メーカー(販売物流再構築), ほか。(実績リスト参照)

5. 指導の特徴

- (1) プログラマ時代に業務プログラム 145,000 ステップ以上をコーディングし、システムエンジニア時代に多数のシステムを手作りで設計・開発した経験があり、実践的な業務ロジックと IT 技術に関する知識が豊富である。(現場のたたきあげ)
- (2) 30 年以上にわたる自動車産業, 化学産業, 住宅産業, 機械工業のシステム構築の現場経験を通して, 素材・部品・セットメーカー・販売・流通まで広がる業界の全貌を把握する能力に優れている。(現場視点, 鳥瞰図視点, 産業史視点の往復ができる広がりと深さと史観のバランス感覚に優れている)
- (3) 「知識創造理論」を野中郁次郎先生からご指導戴いただき, 事業構造モデリングと情報連携組織と G-RD(global relations diagram of function and demarcation)を活用したプロセス型コンサルティング技法を使いこなすことで, 複雑な組織問題を解きほぐし, 知識創造と合意形成に導く能力に優れている。
- (4) 「カップリングポイント在庫計画理論」の開発者であり, その理論化を大阪大学大学院・薦田憲久先生にご指導いただき, SCM 構築の第一人者として国内外の評価が高く, 造詣が深い。
- (5) 日立製作所の多様な事業所の業務改革に参画した経験を通して, 企業(事業)構造(機構)・業績評価と測定などの仕組みを設計する能力に優れている。

以上